

【パネルディスカッションの模様】



(4) 分科会

学校教育、社会教育のそれぞれの分科会に分かれ、講演や事例発表、意見交換等を行った。

① 学校教育分科会 ~学校における取り組み事例の発表~

◇講演 島田 広 弁護士

「北欧の消費者教育と消費者教育推進法について」

◇事例発表 ① 栃木県宇都宮市立陽西中学校の事例(技術・家庭科(家庭分野))

富田 友子 栃木県宇都宮市立陽西中学校 校長

大川 美子 栃木県宇都宮市立陽西中学校 教諭

② 高知県教育委員会の事例(教員研修等の取組)

別役 千世 高知県教育委員会高知県教育センター 指導主事

【概要】

講演では、社会的課題に対する関心が高まりや消費者教育推進法の施行を踏まえ、消費者市民社会を構築するため、どのような消費者教育が行えばよいのか、北欧の事例を紹介しつつ、説明した。

また、事例発表では、中学校の家庭科における消費者教育の授業実践の工夫や、教育委員会における教員研修の充実の方策等について、報告がなされた。

② 社会教育分科会 ~地域における連携・協働のヒント~

◇事例発表 ① 地域をつなげる“子ども大学”

加藤 美幸 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課副課長
兼 主任社会教育主事

② 地域総働型の ESD の取組

池田 満之 NPO法人持続可能な開発のための教育の10年推進
会議(ESD-J)副代表理事

③ マルチステークホルダーによる取組

戸田 達昭 やまなしの翼プロジェクト代表

◇意見交換 [進行] 清國 祐二(香川大学生涯学習教育研究センター長)

【概要】

事例発表では、埼玉県の「子ども大学」、岡山県岡山市における E S D の取り組み、山梨県における地域課題の解決に資する熟議・協働の生涯学習の取り組みなど、各地域で実践されているマルチステークホルダーの取り組みについて、報告が行われた。その後、有識者も交えて、連携・協働を円滑に進めるための秘訣などについて、意見交換を行った。

【分科会の模様】



(5) 情報交換会

分科会終了後、ホワイエ等で各セクターの参加者が挨拶や名刺交換等を行つた。

【情報交換会の模様】



2. 2日目(2月28日)

(1) ワークショップ「ともにつくる消費者教育」

総合コーディネーター

上村 協子 東京家政学院大学教授

あんびるえつこ 子供のお金教育を考える会代表

ファシリテーター

柿野 成美 公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員

須黒 真寿美 公益財団法人全国消費相談員協会消費生活専門相談員

全国から参加者を募り、多様なセクターの関係者（学校教育、消費者行政、消費者団体、事業者団体等）が一同に会し、「ともにつくる消費者教育」をテーマに、グループ形式による共同作業を行った。

児童、青少年、親子、高齢者というテーマのもと、計8グループが消費者教育の教材を体験し、多様な主体が連携できる事業を企画した。さらにそれに基づいて、連携・協働のためのイメージマップを作成し、事業の詳細等についてプレゼンテーションを行った。

【各グループの使用教材とテーマ】

チーム名	教材名(教材提供元)	事業のテーマ
児童A	子ども向け消費者教育ゲーム(東京都足立区)	足立っ子くらしの学び教室 in宿泊学習
児童B	買い物じょうずはエコ上手(横浜市)	買い物じょうずはエコ上手
青少年A	なめがたくらしの安全読本(茨城県行方市)	未来を担う中高生に消費者力をつけよう！
青少年B	社会をつなぐあなたの消費(沖縄県)	社会をつなぐあなたの消費
親子A	おつかいすごろく(文部科学省)	～ママ助けて～パパと一緒におつかいチャレンジ！
親子B	親子で学ぶさいふ学(公益社団法人全国消費生活相談員協会)	はじめてのおくりもの
高齢者A	えひめ消費生活かるた(愛媛県)	かるたで学ぼう～だまされないぞ!! 悪質商法～
高齢者B	いっこく堂の消費者トラブル見守り隊(神奈川県)	笑って学ぼう！ 悪質商法の話